

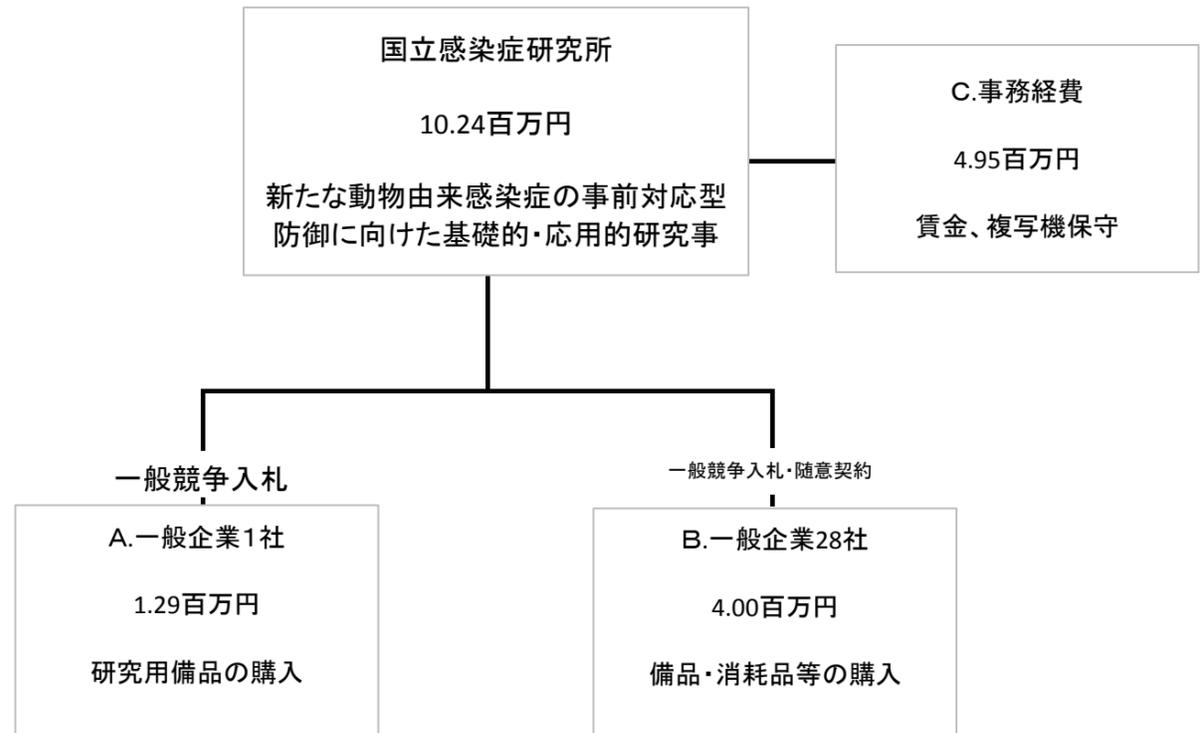
平成25年行政事業レビューシート

(厚生労働省)

事業名	新たな動物由来感染症の事前対応型防御に向けた 基礎的・応用的研究		担当部局庁	国立感染症研究所		作成責任者		
事業開始・ 終了(予定)年度	平成24年度		担当課室	総務部会計課		金山 和弘		
会計区分	一般会計		政策・施策名	XI-1-1 国立試験研究機関の適正かつ効果的な運営を確保する				
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	-		関係する計画、 通知等	-				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	近年、新興感染症の出現頻度が上昇しているが、ヒトの感染症は基本的には動物に由来する。したがって、その対策には、ヒトでの大規模発生前に、動物で感染症のダイナミクスを事前把握することが極めて重要である。国内での高病原性鳥インフルエンザの頻発に見られるように、新たな動物由来感染症への対応を強化することは新興感染症の発生に向けた危機管理として極めて喫緊の課題である。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	動物における感染症ダイナミクスを事前把握するために、まず既知病原体をモデルに各種動物、土壌・水系など環境や動物由来食品の検査手法の確立・検証を国内外機関との共同研究を含め実施する。そして今後の新たな動物由来感染症が未知病原体であることも想定し、優先的に考慮すべき疾病の評価、国内動物・環境における実態調査をもとに、想定される未知病原体の検出法を開発する。これらの検出法を用い、実際に国内の既知病原体浸潤状況を把握するとともに、未知病原体の検出に繋がるモニタリング・サーベイランス手法を種々の動物を対象として確立する。加えて、病原体が宿主域を超えて新たな動物へ感染・伝播する機構の分子的基盤に関する研究を実施する。							
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・ 執行額 (単位:百万円)	予算 の 状 況	当初予算	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求	
		補正予算			10	8	8	
		繰越し等						
		計			10	8	8	
	執行額			10				
	執行率 (%)			100				
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	22年度	23年度	24年度	目標値(27年度)
	各種動物での検査手法の確立、検証のため、定量的な成果目標は示せないが、定性的には27年度までに動物組織からの病原体検出マイクロアレイの確立(開発)を目指す。		成果実績	-	-	-	-	動物組織からの病原体検出マイクロアレイ確立(開発)
			達成度	%	-	-	-	
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	各種動物での検査手法の確立、検証のため、定量的な活動成果指標は示せない。ただし、既知病原体の検出法では、野兔病菌感染野生動物を特定する検査手法、狂犬病抗体迅速測定法を確立した。		活動実績 (当初見込み)	-	-	-	検査手法の確立 2件	-
					-	-	検査手法の確立 3件程度	検査手法の確立 3件程度
単位当たり コスト	(円/)		算出根拠	-				
平成25・26年度 予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由				
	備品費	1	1	-				
	消耗品費	7	7					
計	8	8						

事業所管部局による点検					
	項目		評価	評価に関する説明	
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。		○	保健医療の向上や感染症に関する研究を行うことが国立感染症研究所の責務であり、国費の投入が必要。	
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○	感染症法に基づく国の責務を踏まえ実施している事業であるため。	
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。		—	—	
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		○	会計法に基づき適切に契約を行い、競争性を確保している。一般競争入札においては再なる参加者の確保に努める。	
	受益者との負担関係は妥当であるか。		—	—	
	単位当たりコストの水準は妥当か。		—	—	
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		—	—	
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○	事業の適切な遂行について、必要な経費に限定されている。	
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		—	—	
事業の有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		—	—	
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		—	—	
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		○	成果物については自治体等の関係機関に配布・委嘱して活用が行われている。	
重複排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		—		
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名		
点検結果	<p>新たな動物由来感染症への事前対応に向けた研究実績として、24年度は2つの既知病原体をモデルに検査手法、迅速測定法を確立した。これらの研究に必要な備品・消耗品等については会計法に基づき適正に調達が行われている。</p> <p>新たに動物由来感染症が新興・再興感染症として台頭すれば、ヒトや家畜に対する直接的健康被害だけでなく、治療や予防に係る医療費の増大、社会経済活動の停滞、家畜の処分による費用、補償、風評被害等に基づく様々な経済的影響等が想定され、経済的被害も極めて甚大であることから、事前対応型の対応が可能となればその費用対効果は極めて高いといえる。</p>				
外部有識者の所見					
引き続き適正執行に努めること。(長崎、井出)					
行政事業レビュー推進チームの所見					
現状通り	本事業は、新たな動物由来感染症への対応を強化するための事業であり、本事業の必要性及び執行の観点からの評価も概ね妥当であることから、引き続き効率的な執行に努めるべき。				
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況					
現状通り	—				
備考					
関連する過去のレビューシートの事業番号					
平成22年		平成23年		平成24年	新24-0044

※平成24年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。



資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
行っているかについて補足する)
(単位: 百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」に
 においてブロックご
 とに最大の金額
 が支出されている
 者について記載
 する。費目と使途
 の双方で実情が
 分かるように記
 載)

A.(株)豊島製作所			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
備品費	研究用フリーザーの購入	1			
計		1	計		0
B.(株)池田理化			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
消耗品費	研究用解析ツールの購入	1			
計		1	計		0
C.非常勤職員A			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
賃金	事務補助	3			
計		3	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)豊島製作所	研究用フリーザーの購入	1.29	2	98.44
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)池田理化	研究用解析ツール購入	0.99	随意契約	—
2	(株)池田理化	検査機器保守点検	0.45	随意契約	—
3	(株)池田理化	検査機器校正	0.31	随意契約	—
4	(株)ニード	事務備品購入	0.21	随意契約	—
5	岩井化学薬品(株)	検査試薬購入	0.18	随意契約	—
6	(株)池田理化	検査機器修理	0.13	随意契約	—
7	(株)池田理化	検査機器修理	0.13	随意契約	—
8	(株)池田理化	検査機器修理	0.13	随意契約	—
9	理科研(株)	検査試薬購入	0.09	随意契約	—
10	三基科学工芸(株)	PCソフト購入	0.07	随意契約	—

C.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	非常勤職員A	業務補助	3.12	—	—
2	コニカミノルタビジネスソリューションズ(株)	電子複写機保守	1.83	1	96.38
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					